

R2 介護ロボット導入支援事業 導入効果一覧

番号	法人名	施設名称	利用定員数	導入機器種類	機器名称	導入台数	導入効果	介護ロボットの活用課題 介護ロボットを導入・活用してみて感じた課題について記載（介護ロボットの機能、使い勝手や導入・活用にあたって苦労した点など）
1	社会福祉法人ジェイエー長野会	うすだコスモ苑	170	見守り	aams	6	職員 1 人あたりの業務の時間削減：0 分（変化なし） 職員 1 人あたりの超過勤務削減：0 分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：0～10% 職員の心理的（精神的）負担の変化：変化なし	介護ロボット導入設置経過・・・見守りセンサーは年度末に各ユニット設置をした。メーカー担当者からまず細かい設定をせず、2～3か月試用期間後、再度担当者が個別設定等説明にくることになっている 現状、個別設定などができていない、使い方を現場職員がわかっていないところがあるので、センサーを使用しても、実際職員の業務負担が軽減できてはいない。今後活用されれば業務負担の軽減が図れると考えられる
2	社会福祉法人萱垣会	養護盲老人ホーム光の園	50	移乗支援	Hug T1—02	2	職員 1 人あたりの業務の時間削減：長くなった 職員 1 人あたりの超過勤務削減：長くなった ヒヤリハット・介護事故件数減：変化なし 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの間接的な影響をうけ、導入自体が大幅に遅れて年度末となったため、十分な効果が確認できるだけの期間がまだとれていない。 ・移乗ロボについて、職員によって使いこなしている人とまだまだ使いこなせていない人がいる。新しいものの浸透には、時間が掛かると改めて思った。 ・移乗ロボの本体が重い、居室が狭いなど、移乗ロボを移動する際の苦労がうかがえる。そのため、他の職員を呼んで 2 人介助の方が早いと感じる職員も多いのではないか。 ・介護ロボを、より有効に活用するためには、居室内の配置なども含めて工夫が必要だと感じた。
				見守り	ペイシエントウォッチャープラス	6		
		特別養護老人ホーム第二光の園	60	移乗支援	Hug T1—02	2	職員 1 人あたりの業務の時間削減：長くなった 職員 1 人あたりの超過勤務削減：長くなった ヒヤリハット・介護事故件数減：0～10% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの間接的な影響をうけ、導入自体が大幅に遅れて年度末となったため、十分な効果が確認できるだけの期間がまだとれていない。 ・移乗ロボをトイレ介助に使用してみたが、移乗ロボの幅が広くて使用することができなかった。もう少し、小回りがきくと良いと思った。 ・見守りロボは、利用者様の事故の分析等、振り返ることができて良いと思う。 ・介護ロボにより、利用者様の残存機能を引き出せるように繋げていけると良いと感じた。 ・まだまだ実験的に使用した程度であり、十分活用できているとは言えない。導入経緯などを改めて確認し合い、積極的に有効活用できるよう全職員が取り組んでいきたい。
				見守り	ペイシエントウォッチャープラス	10		

3	医療法人社団山力会	介護老人保健施設千年の緑	29	見守り	眠りスキャン	6	<p>職員 1 人あたりの業務の時間削減：360分/月 職員 1 人あたりの超過勤務削減：360分/月 ヒヤリハット・介護事故件数減：40～50% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は、無線LANの状況で接続できない時があったが、アンテナの場所等の変更で改善した。 ・ただ、全体の 2 割の台数ではカバーできていない。 ・心拍・呼吸状態が確認できてよい ・導入計画時の目標に達していない理由は、台数が少ないため必要な利用者のベッドへセンサーを移動する際、センサーの設置方法に問題があったりした。導入メーカーに講習会を依頼し、今後も定期的に講習会を開催する。
		通所リハビリテーション	30	見守り	眠りスキャン	6	<p>職員 1 人あたりの業務の時間削減：500分/月 職員 1 人あたりの超過勤務削減：500分/月 ヒヤリハット・介護事故件数減：40～50% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は、無線LANの状況で接続できない時があったが、アンテナの場所等の変更で改善した。 ・台数が足りない ・導入計画時の目標に達していない理由は、台数が少ないため必要な利用者のベッドへセンサーを移動する際、センサーの設置方法に問題があったりした。導入メーカーに講習会を依頼し、今後も定期的に講習会を開催する。
4	社会福祉法人グリーンアルム福祉会	特別養護老人ホームバルベル	45	見守り	見守りケアシステムM2	9	<p>職員 1 人あたりの業務の時間削減：90分/月 職員 1 人あたりの超過勤務削減：0分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：60～70% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・導入して間もないこともあると思われる。長期間で行うことにより、変化があると思われる。 ・コールがベッド上にいる限りで鳴り、訪問しているためヒヤリハットなどの予防ができています。 ・手動ベッドから電動になり、メモリー機能を使用することにより、その方のポジショニングがスムーズに行えている
		介護老人保健施設ウィングラス	90	見守り	見守りケアシステムM2	18	<p>職員 1 人あたりの業務の時間削減：72分/月 職員 1 人あたりの超過勤務削減：2.4分/月 ヒヤリハット・介護事故件数減：20～30% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・センサーベッド導入にあたり、早めの対応は可能になった。 ・ベッド周りのインシデントの件数が前回アンケート集計時（1か月分）と比較して約半分となっている ・試用して間もないこともあり、利用者の少しの体の動きでセンサー反応がしてしまうことがある。 ・導入時、確認のため、部屋に行く回数は増えた。 ・使用していくにつれ、効果が実感できると思う。
5	社会福祉法人伊南福祉会	老人保健施設フラワーハイツ	96	見守り	aams	6	<p>職員 1 人あたりの業務の時間削減：0 分（変化なし） 職員 1 人あたりの超過勤務削減：0 分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：0～10% 職員の心理的（精神的）負担の変化：変化なし</p>	<p>令和 2 年度は、2 月中旬の納品であり機能・使い方を覚える段階で、実際の効果検証までには至っていないが、導入後の感想で効果が見込めそうである。</p> <p>導入後の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コールマットより早く反応するため、対応が早くできるようになった。 ・体位交換の時期が判断できるようになった。 ・眠剤服用する人の睡眠状態が分かる。 ・呼吸の有無について、訪室しなくともわかる。 ・WiFiの通信環境が不安定な場所がある。

6	医療法人矢嶋内科 医院	グループホーム せせらぎの家	18	見守り	ルナナース	2	職員 1 人あたりの業務の時間削減：1200分/月 職員 1 人あたりの超過勤務削減：0分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：60～70% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	≪見守りセンサーロボット≫ ・センサーの設定方法によっては少しの動きで反応してしまい、無駄に足を運んだケースが見られました。 ・センサー本体が大きく入居者によっては気にされる方もいる。又、センサーが反応し職員がすぐに対応できない場合など、ベッド周りを歩かれる方にとっては躓き転倒の原因になりかねない。 ・入居者が端坐位または動きがあった場合、にすぐに駆けつけることが出来る時の効果は大きい。 ≪コミュニケーションロボット≫ ・認知症の方にとって捉え方が都度変化していく為、活用するタイミングの見極めが必要。 ・ロボットを置いてあると、突然喋りだすことがあり驚かされてしまう場面が見られた。 ・ロボットに返答を求めることがあり、返答ないことで不穏になり職員が介入必要となる場面があり時間を取られることもあった。 ・ロボットを可愛がる・お世話をする等の役割を持つことで穏やかに過ごされることもあった。
		コミュニケーション		こんにちは赤ちゃん	2			
7	特定非営利活動法人 北アルプスの風	信濃ときわの家	9	見守り	眠りスキャン	2	職員 1 人あたりの業務の時間削減：300分/月 職員 1 人あたりの超過勤務削減：0分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：0～10% 職員の心理的（精神的）負担の変化：変化なし	＊反応のレスポンスは悪くない。わずかな体動でも反応するため非常に信頼できる。 ＊wi-fiの環境に左右されやすい点があり、ルーターから離れた部屋だと受信状況がよくない場合があったが、導入機器の不具合ではなく、こちらの通信環境の不備によるもの大きいと考えられる。 ＊グラフに見える化することで、睡眠状態などがよくわかり、夜間の排泄支援のタイミングなどの際に非常に参考になっている。 ＊導入当初、不慣れなスタッフは、画面情報を気にしすぎてしまう場面が多々見られていた。その後の指導で、あくまでサポートとして活用するという認識となった。
		北アルプスの家	9	見守り	眠りスキャン	2		
8	社会福祉法人芹田福 祉サービス	ぬくもりの里今 井二号館	17	見守り	眠りスキャン	4	職員 1 人あたりの業務の時間削減：82分/月 職員 1 人あたりの超過勤務削減：66分/月 ヒヤリハット・介護事故件数減：50～60% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	令和 2 年度に補助金の交付決定をいただき導入したが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況の中で導入を予定していた介護ロボットが品薄となってしまう、導入時期が令和 3 年 3 月中旬となってしまったため、令和 2 年度については、十分な実績の確認ができなかった。 令和 3 年度については、導入効果の十分な確認を行ってまいりたい。
		ぬくもりの里篠 ノ井	30	見守り	眠りスキャン	6		
9	医療法人大和会	介護老人保健施設 花の道	19	見守り	見守りケアシステムM2	4	職員 1 人あたりの業務の時間削減：208分/月 職員 1 人あたりの超過勤務削減：0分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：10～20% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	ベッド上で重さを感じなくなった時（ベッドから降りた、または降りようとして体重感知がベッド端に偏っている時など）に、警告コールをwifiで飛ばしてくれるシステム。またリアルタイムでベッド上の重さ（体重）をチェックできるシステム。 ・ある利用者を事例に上げて報告する。 夜間に大声を発声するなど不眠時に、毎回かけつけることなく訪室回数は減ったので手間は減っている。 しかし、起きていると常に体動がある方であり、ベッドの底板や天板に脚をのせ膝をかけているような方なので、日中も警告コールが頻回になってしまう。毎回、そこへ駆け付けると他業務に支障をきたすため、日中の人手が多く短い時間間隔で居室前を誰かが通りかかるような時には、警告を切っている。 体重管理については、利用者がベッド上にいなくて寝具が乗っている状態を初期設定にするなど少し手間がかかるため、4台導入しただけの今は活用できていない。 今後、台数を増やした際に活用する予定。